

## コミセン湘南まつりにドツと 700 人

昨年11月16日、秋の好日に「コミセン湘南まつり2024」が開催された。来場者数700人とたくさんの方が集まった。オープニングで柳島はやし会の威勢のいい太鼓の音が響き渡った。野外特設ステージではバンド、和太鼓、ZUMBA体験などで沸かせた。模擬店では野菜、スイーツ、焼きそば、ホットドッグなどが売られ賑わった。来賓客は佐藤光市長ら13人を数えた。



湘南潮音太鼓 迫力の演奏

ドンドン、タタタッタ……「そ〜れ、それっそれっ!」。踊りながら腕を振り上げ、和太鼓が聞く者のお腹に響いてくる。太鼓に合わせた笛の音もリズムを取っていく。コミセン湘南で日曜日に練習を重ねる「湘南潮音太鼓」のメンバー10人だ。赤い鉢巻きに黒装束が決まっている。「昇」と描かれた和太鼓のリズムに観客から手拍子が起こった。3曲目「やまびこ」から小3男児が加わり、見事なバチさばきで観客をうならせた。本日がデビューという。大喝采を浴びた。

### 妖艶な踊りにも釘付け

「エンジョイライフ」も注目を集めた。ハーモニカ演奏のMackyさんと踊り子のあんじーさんが息の合ったパフォーマンスを見せた。「秘密な刃」「涙のキス」など4曲、うっとりするハーモニカの音に妖艶なあんじーさんの踊りが味付けし、目を奪われた。

# お腹も踊る和太鼓の響き



妖艶な踊りを見せたあんじーさんと演奏のMackyさん



コマで遊ぶ子どもたち

### コマの色付け、回して満足

その他「柳〜ズ」「コナハワイアンズ」「血と汗と涙」「キッズフラ」が個性的な演奏と踊りで沸かせ、ZUMBAでは観客も体験しノリノリだった。

館内では茶道体験の予約券が20分で売り切れ。コマの色付けに長い行列ができた。中島中美術部の似顔絵、科学部のスライム作りなども好評を博した。屋外のお菓子釣り、輪投げにも人垣ができた。

★トピックスは裏面



## 身近に置いてカンタンに弾いちゃおう

【8月3日 ウクレレ教室】大会議室にて恒例の教室が谷川さん、上田さん、矢口さんの「谷川バンド」を講師としてお迎えし開かれた。和音C、F、G7、Amを覚え「ルージュの伝言」などを受講者14人全員で奏でた。谷川さんは「台所のテーブルにウクレレを置いて1日1回でも弾いてもらえば、すぐ上手く弾けるようになります」と手軽さをアピールしていた。



## 好きに色付け「ぶっつけゴマ」で勝負

【8月22日 夏休み工作教室】講師に永野良雄さんをお迎えして4年ぶりに開催された。小学生6人とその保護者が集まった。最初にけやきなどの堅い木で好きな絵や文字を焼き付ける「千社札」を作り、次に「ぐにゃぐにゃ凧」。最後に木工旋盤を使った「コマ」作りで楽しんだ。好きな色で色付けした後、「ぶっつけゴマ」などをして遊んだ。



## 「光る君へ」をもっと深く理解するために

【10月17、24、31日 文学講座】「紫式部と清少納言」と題して、講師に元高校教師の藤野敬子氏をお迎えして3回シリーズで行われた。35名募集に40名が申し込むほど盛況だった。スライドを使い軽妙な語り口で源氏物語や枕草子などの作者の心理や背景、宮廷の様子をひもといてくれた。参加者の一人は「『光る君へ』に触発されて、さわりでも分かればもっと面白く見られるかな、と思って参加した」と意欲を語った。



## 難しそう、でもやってみたら意外とできちゃう

【11月26日 大人の折り紙教室】恒例の教室に14人が参加した。講師は中山里美さんと後藤のぞみさん。去年と同じ「クリスマスリース」だが少し手の込んだリースが選ばれた。参加者は「手が器用じゃないから」と言いながらも「難しそうに見えたけど、やってみたら簡単。迷ったら教えてくれるアシスタントさんもいて助かった」と、出来映えに満足そうだった。



## ホカホカでフルーツの香りいっぱい

【12月14日 大人のパン教室】講師に根岸恵子さん、前田照勝さん、後藤のぞみさんをお迎えして調理室で行われた。今回は希望者が多く14日は9人、18日は7人と2日に分けた。料理法はまず、こねた生地をめん棒で長方形に伸ばすことから始まった。その上にミックスフルーツとクルミを散らし仕上げ発酵後、焼成させると香ばしい「ヴァイナハツプルンダー」の出来上がり。ホカホカを各自が持ち帰り、嬉しそうな顔が並んだ。

